

2024年2月9日 開催予定
2024年3月期第3四半期
決算説明会資料

 働きものを、幸せものに。
NISSOホールディングス

東証プライム市場 コード9332

令和6年能登半島地震により被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震により、犠牲になられた方々に謹んでお悔みを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地におきまして救済と復旧・復興支援等の活動にご尽力されている方々に深く敬意を表します。

被災地域の皆様の安全確保と、被災された皆様の生活が一日も早く平穏に復することを祈り申し上げます。

- 1** 2024年3月期 第3四半期 **決算概要**
- 2** 2024年3月期 第3四半期 **サービス別業績について**
- 3** **日総グループの成長に向けて**
- 4** **日総グループ トピックス**
- 5** **今後の見通し（2024年3月期）**
- 6** **株主還元方針**
- 7** 2024年3月期 第3四半期 **財務状況**
- 8** **用語集**

1

決算概要 (2024年3月期 第3四半期)

2024年3月期 第3四半期 実績

- 連結売上高は前年同期比で7.9%増加
- 連結営業利益は前年同期比で46.5%増加
- オートモーティブは回復基調も、メーカーの度重なる稼働停止の影響が拡大
- エンジニア系人材サービスは、セミコンダクターの影響もあり低調
- 介護・福祉サービスは前年同期比で増収増益

(単位：百万円)

ポイント

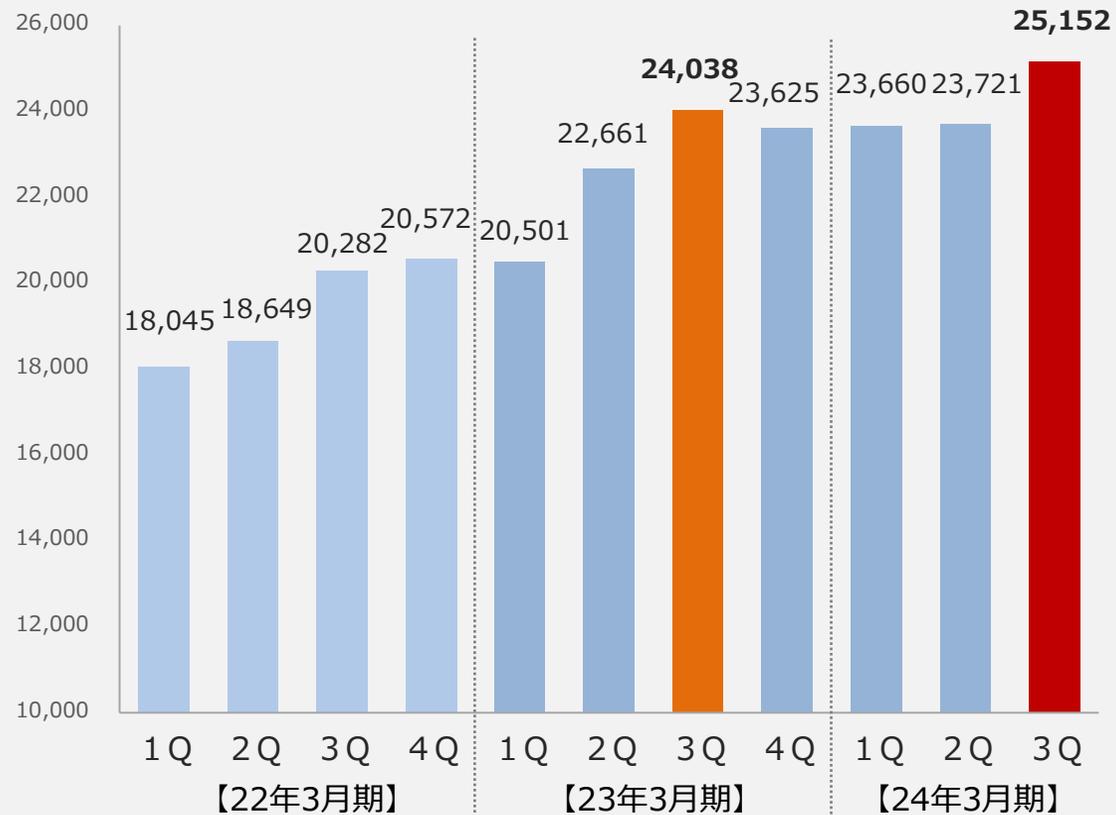
営業利益、前年同期比46.5%増加

- 在籍人数の増加もあり、売上高は前年同期比で7.9%増加。
- 介護・福祉サービスは前年同期比で増収増益。
- 売上高伸長もあり販管費率は、前年同期比で0.3%減少。

	23年3月期 第3四半期		24年3月期 第3四半期		前年同期比	
	実績	百分比	実績	百分比	増減額	増減率
売上高	67,201	100.0%	72,534	100.0%	5,333	7.9%
売上総利益	10,576	15.7%	11,774	16.2%	1,198	11.3%
販管費	9,177	13.7%	9,726	13.4%	548	6.0%
営業利益	1,398	2.1%	2,048	2.8%	650	46.5%
経常利益	1,501	2.2%	2,129	2.9%	627	41.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	937	1.4%	1,395	1.9%	458	48.9%

売上高

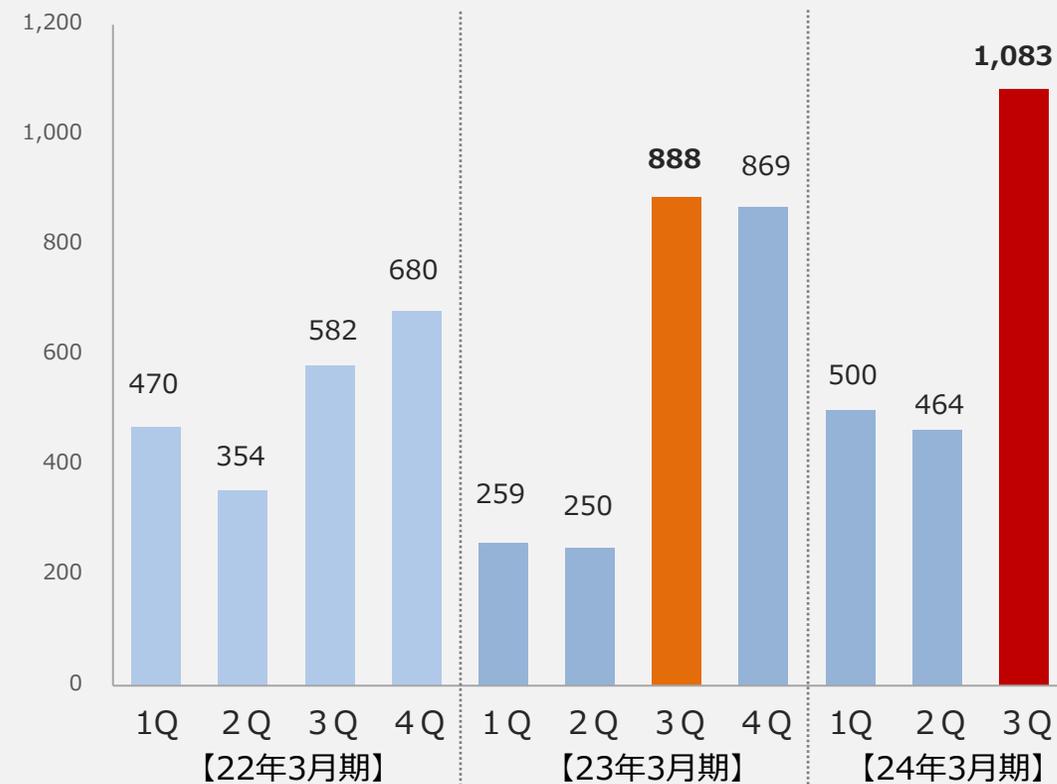
(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)

3Qは前年同期比22.0%増加



2

サービス別業績について (2024年3月期 第3四半期)

(当社・持株会社) **NISSOホールディングス NISSOホールディングス株式会社**

(総合人材サービス)



(介護・福祉サービス)



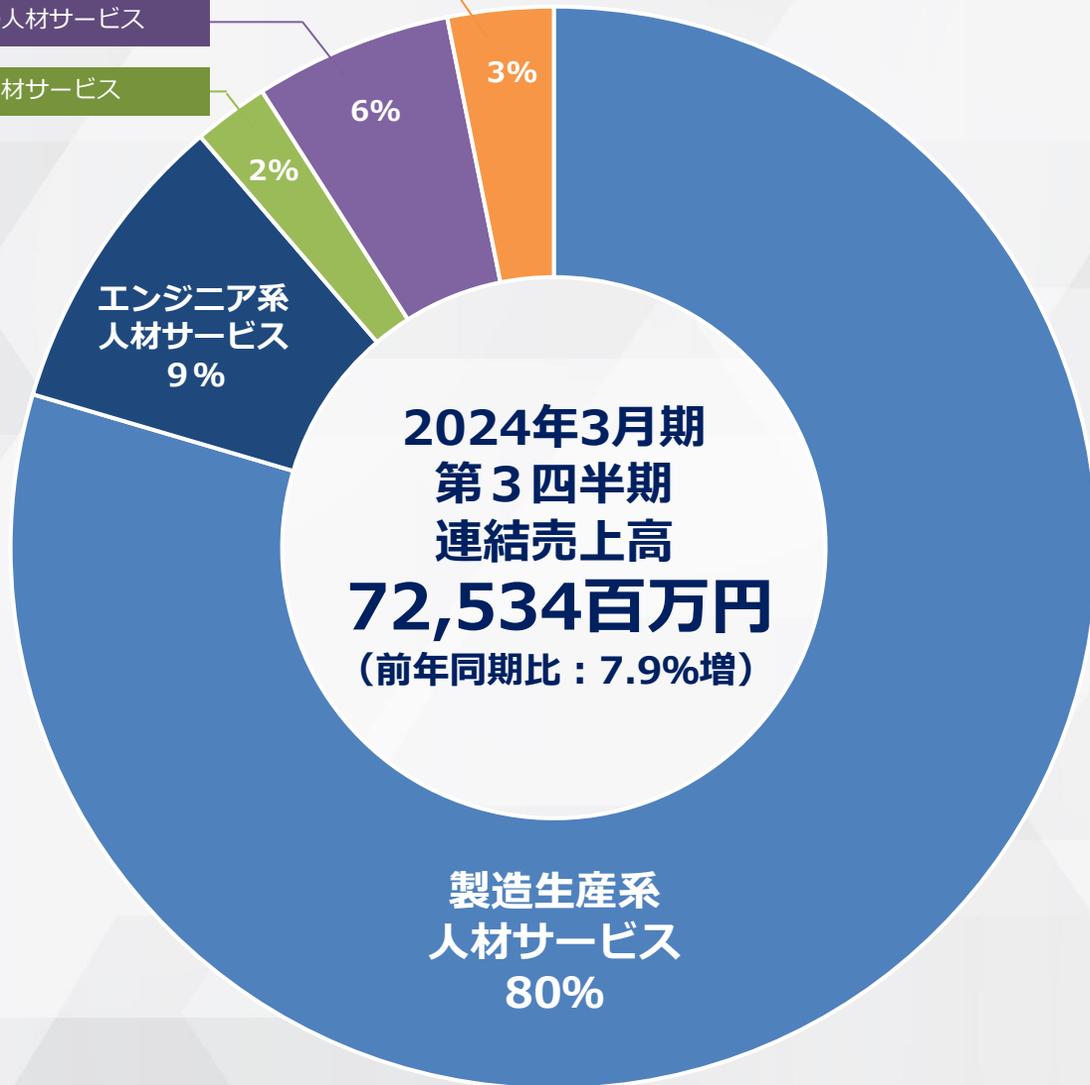
サービス別売上高

※内部取引は消去

介護・福祉サービス

その他の人材サービス

事務系人材サービス



2024年3月期
第3四半期
連結売上高
72,534百万円
(前年同期比 : 7.9%増)

製造生産系
人材サービス
80%

総合人材サービス

製造生産系

57,719百万円

エンジニア系

6,638百万円

事務系

1,630百万円

その他の
人材サービス

4,262百万円

介護・福祉サービス

介護・福祉

2,283百万円

総合人材サービスについて

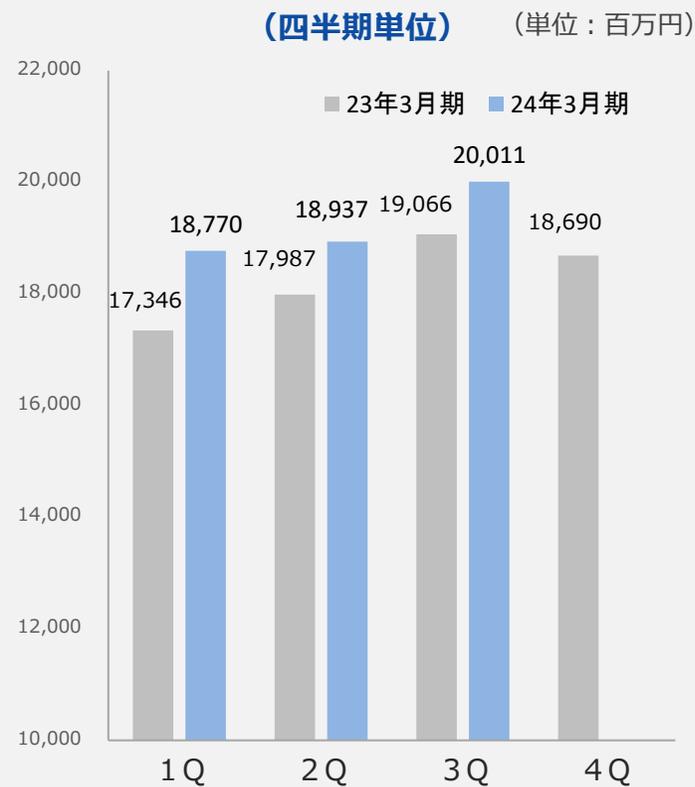
売上高について

3Qの製造生産系の売上高は、在籍人数の増加もあり、前年同期比で5.0%増加。

在籍人数について

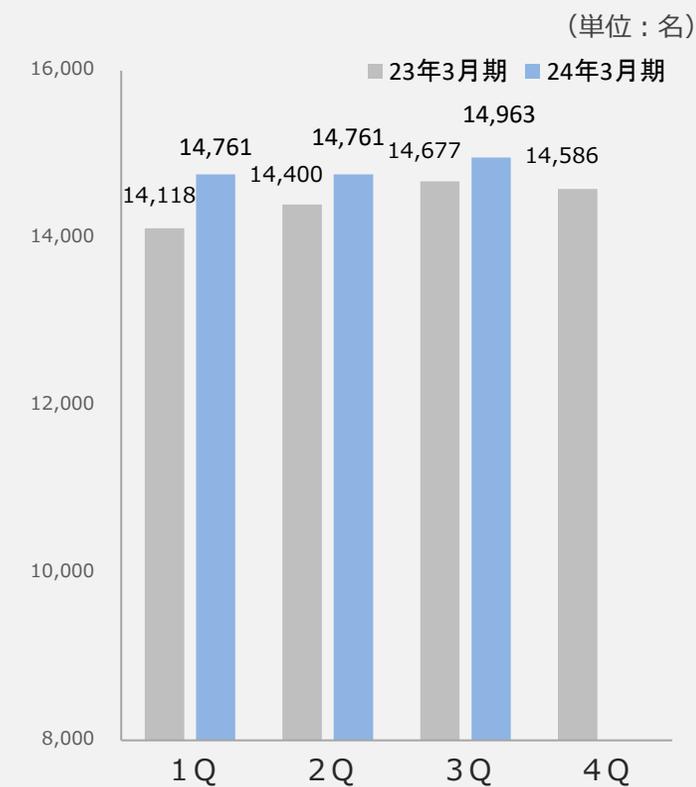
製造生産系の在籍人数は、前年同期比で286名増加。

製造生産系 売上高



※内部取引は消去

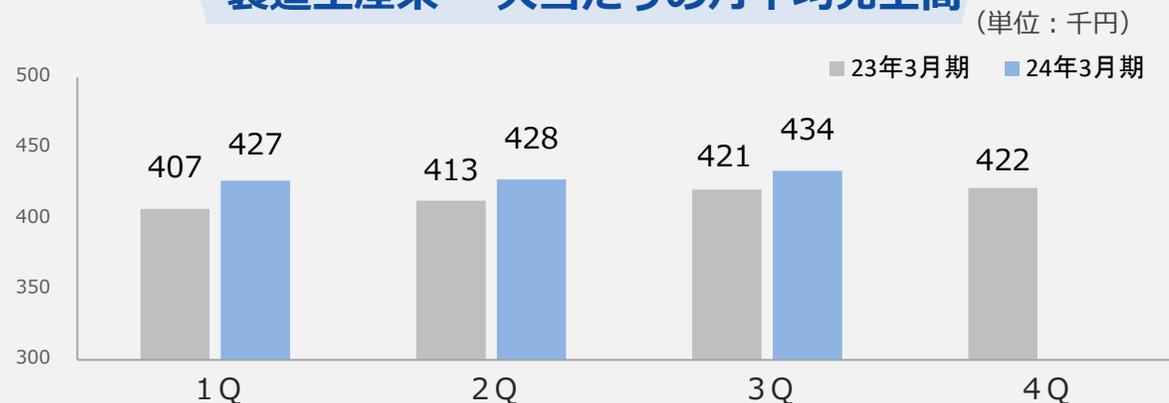
製造生産系 期末在籍人数



一人当たりの月平均売上高について

製造生産系の一人当たりの売上高は前年同期比で3.2%増加。

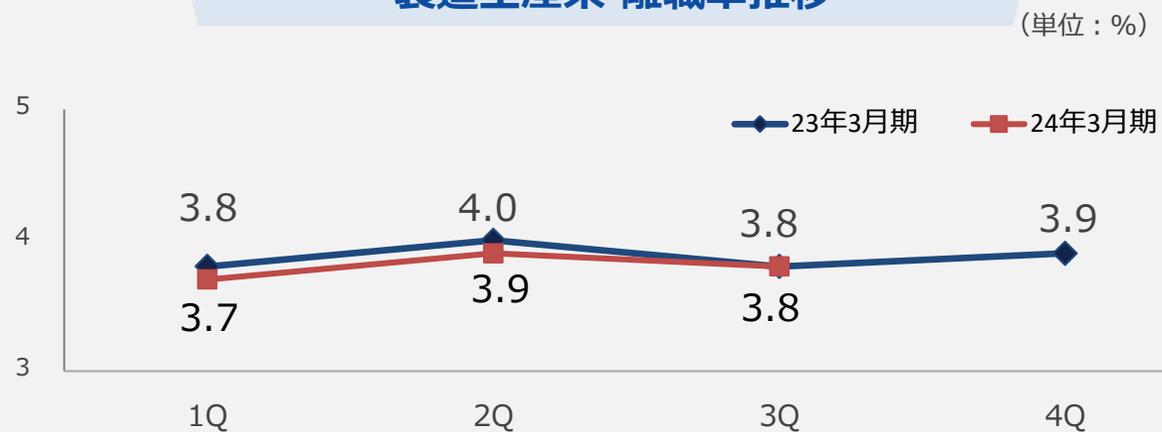
製造生産系 一人当たりの月平均売上高



離職率について

製造生産系の離職率は、前年同期比で同水準。4%未満を維持。

製造生産系 離職率推移



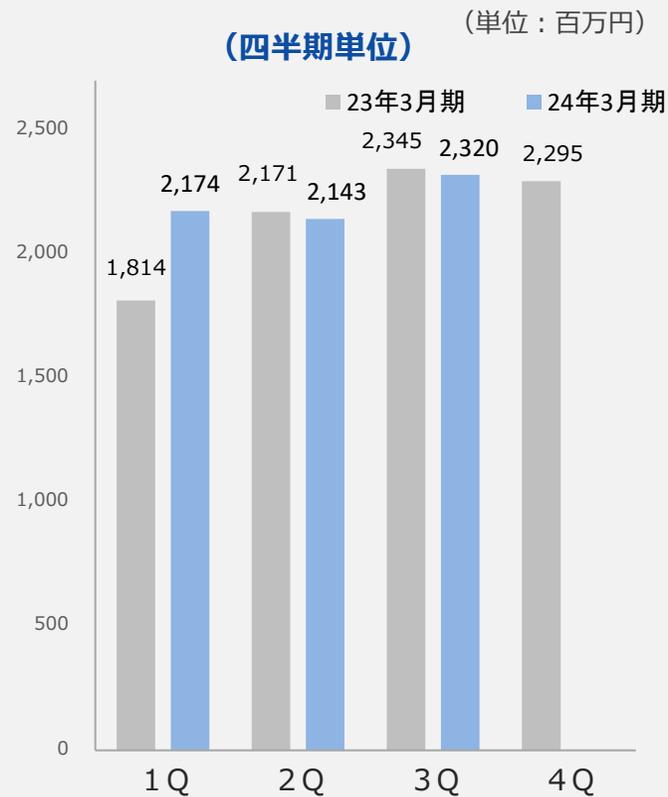
売上高について

- ・ セミコンダクターの回復遅れが響き3Qのエンジニア系の売上高は前年同期比で1.0%減少も、2Q比で減少率が縮小し回復の兆し。
- ・ 累計では、前年同期比で4.8%増加。

在籍人数について

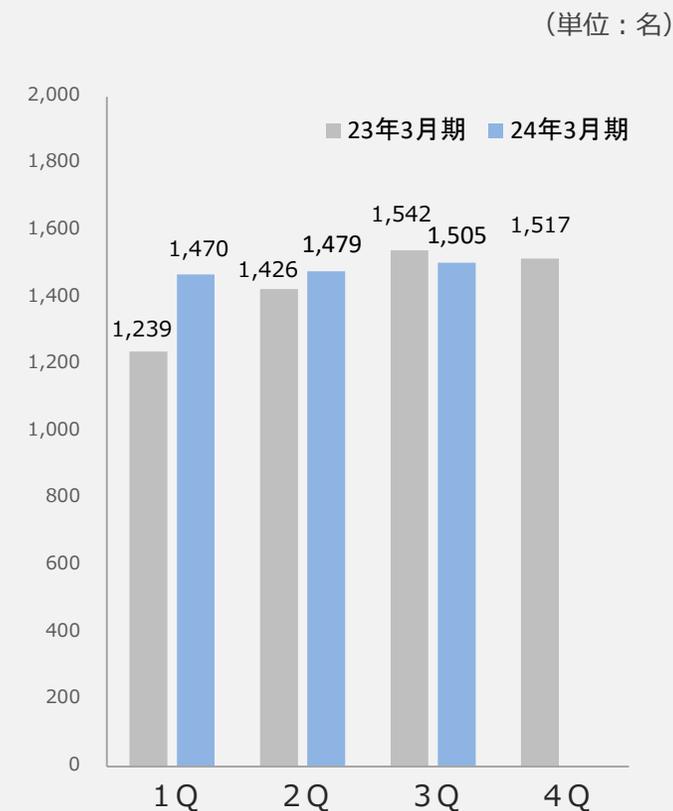
売上高同様、回復遅れが響きエンジニア系の在籍人数は、前年同期比で37名減少も、2Q比で回復の兆し。

エンジニア系 売上高



※内部取引は消去

エンジニア系 期末在籍人数



一人当たりの月平均売上高について

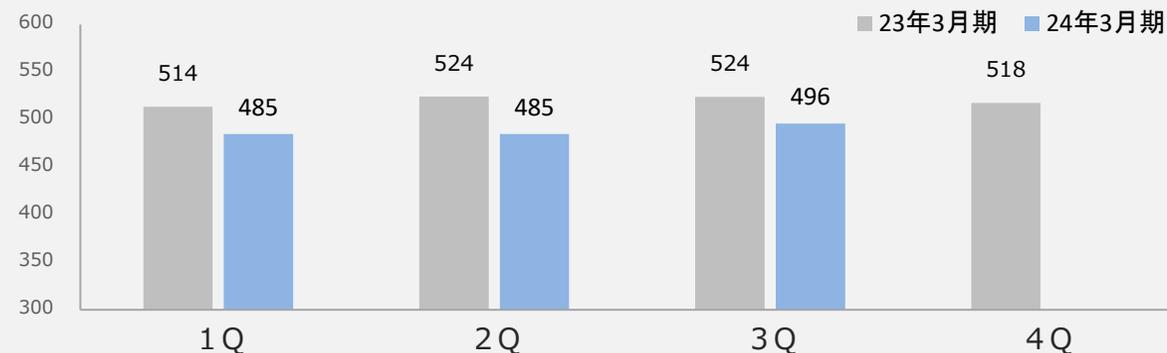
エンジニア系の一人当たりの売上高は、
半導体の低調な生産活動もあり、
前年同期比で減少も、2Q比で回復の兆し。

離職率について

エンジニア系の離職率は、前年同様低水準
を維持。

エンジニア系 一人当たりの月平均売上高

(単位：千円)



エンジニア系 離職率推移

(単位：%)



事務系人材サービスについて

3Qの事務系の売上高は、在籍数減少もあり前年同期比で1.9%減少。

事務系 売上高



事務系 期末在籍人数



その他の人材サービスについて

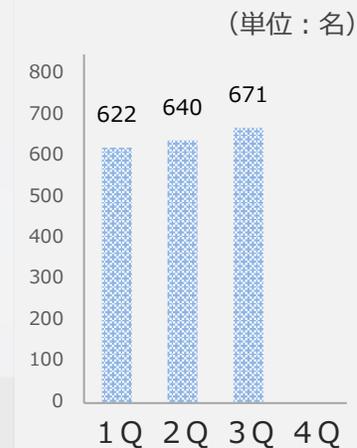
- 株式会社ニコン日総プライムは、プライム社員の活躍を支援、社員数は671名。
- 日総ぴゅあ株式会社は、多様な人材が活躍できる職場環境を構築し、障がい者社員数は224名。

※プライム社員：高年齢者社員

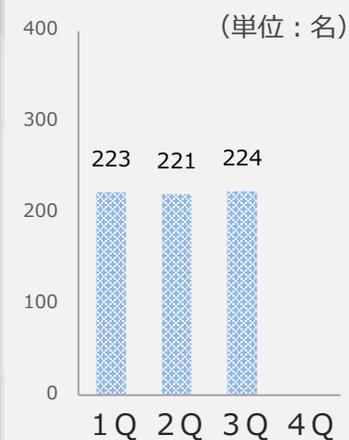
その他 売上高



プライム社員数



障がい者社員数



介護・福祉サービスについて

介護・福祉サービスは、施設介護、在宅介護を提供

施設介護

神奈川県横浜市にて、有料老人ホーム6か所を運営し入居者に対する介護サービスを提供。
質の高いサービス提供をモットーに、施設における入居率は高い水準を維持。

在宅介護

介護ステーションを神奈川県横浜市に1か所、福島県いわき市に2か所、通所介護施設を福島県いわき市に2か所展開。

人材育成

質の高い介護を目指し、人材育成に注力。
介護技術コンテストである第13回オールジャパンケアコンテストにすいとぴー金沢八景の社員が参加、入浴部門で優秀賞を受賞。

すいとぴー新横浜



すいとぴー港南台mio



すいとぴー金沢八景



すいとぴー本牧三溪園



すいとぴー三ツ境



すいとぴー東戸塚



ポイント

- 介護施設全体の入居率は、93.8%と高水準で推移。
- 売上高は、前年同期比で1.0%増加。
- 売総額は、前年同期比で9.7%増加。
- 2023年12月、神奈川県と未病改善に係る事業の基本合意書を締結。

●介護・福祉サービス実績

※内部取引は消去

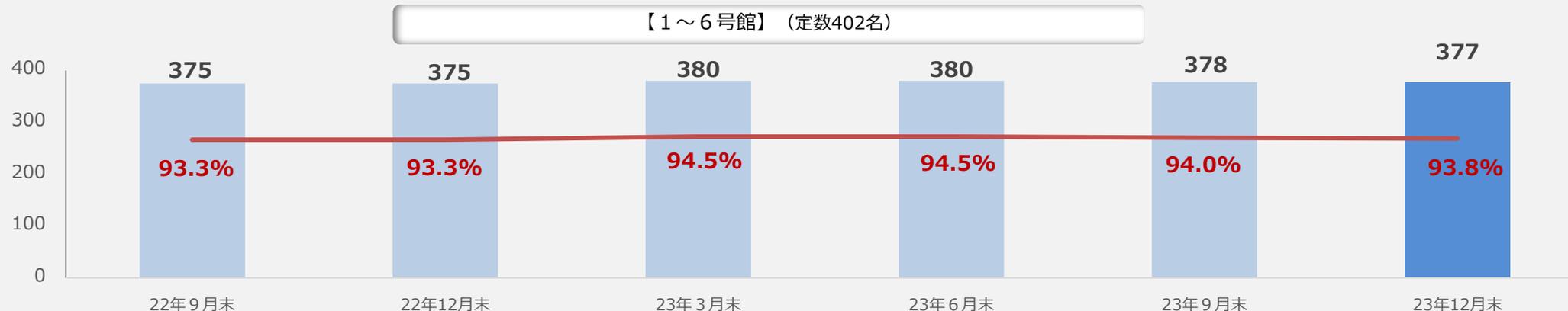
(単位：百万円)

	23年3月期 第3四半期	24年3月期 第3四半期	対前年同期比	
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	2,261	2,283	22	1.0%
売総額	230	253	22	9.7%

施設入居者数

(単位：名)

■ 入居者数 — 入居率



3 日総グループの成長に向けて

日総グループ 成長サイクルイメージ

— 急激な顧客環境変化 —



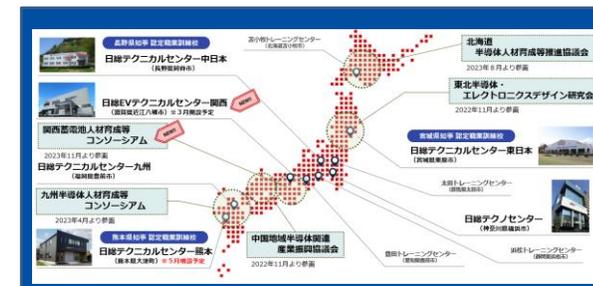
EV化やDX化への対応

機動的なM&A

シナジーを高める
資本業務提携

新たな接点の獲得

異業種との連携



人材流動化への対応

積極的な産官学連携

高度人材育成

採用の仕組みを強化

- 工場求人ナビ
- エンジニアワークス

Society5.0を牽引する産業（インダストリー）へ、育成・人材輩出を通して貢献していく

アカウント戦略

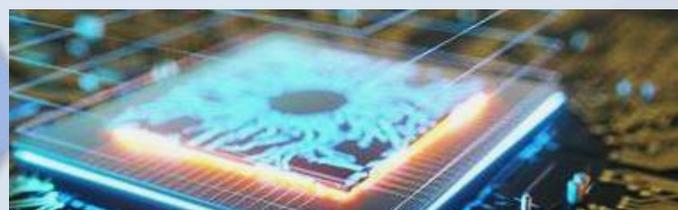


インダストリー戦略 Society 5.0を牽引する産業



オートモーティブ
インダストリー

自動車/
EV関連



セミコンダクター
インダストリー

半導体/
半導体製造装置



エレクトロニクス
インダストリー

通信機器/
電子部品

オートモーティブインダストリー
(自動車製造・EV関連製造業界)

セミコンダクターインダストリー
(半導体製造業界)

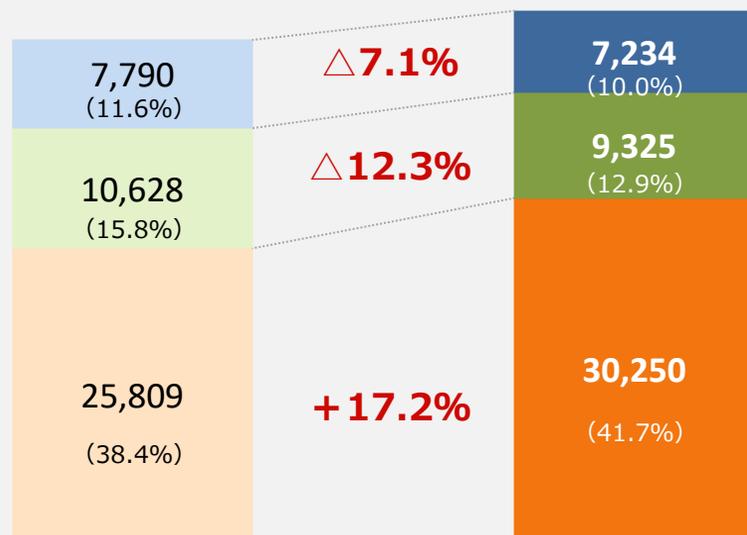
エレクトロニクスインダストリー
(電子機器製造業界)

		オートモーティブ	セミコンダクター	エレクトロニクス
上期	設備投資	徐々に拡大	拡大	横ばい
	生産動向	生産の増加は足踏み	製造装置・メモリは低調 パワー半導体は堅調	セミコンダクターと連動し低調
	稼働動向	部品不足の影響は継続	稼働は低調	稼働は低調
	要員動向	堅調	低調	低調
下期	設備投資	拡大	更に拡大	徐々に拡大
	生産動向	部品不足は解消も 認証問題等で生産が伸びず	製造装置は回復に遅れ メモリは低調	セミコンダクターに次いで回復
	稼働動向	メーカーの度重なる稼働停止 の影響が拡大	製造装置は回復に遅れ メモリは低調	セミコンダクターに次いで回復
	要員動向	堅調	低調	セミコンダクターに続いて 徐々に増加

連結売上高構成比

(単位：百万円)

■ オートモーティブ ■ セミコンダクター ■ エレクトロニクス



※ () 内%は連結売上高比、赤字の%は、前期比伸長率

	売上高	稼働動向	要員動向
エレクトロニクス (電子機器製造業界)	前年同期比で 7.1%減少	低調も 一部回復傾向	低調も 一部回復
セミコンダクター (半導体製造業界)	前年同期比で 12.3%減少	製造装置 半導体メモリ は低調 パワー半導体 は堅調	低調
オートモーティブ (自動車製造・EV関連製造業界)	前年同期比で 17.2%増加	認証問題等で 稼働が伸びず	堅調

物流2024



人材ミスマッチ



社会課題



人材ニーズの多様化



サービス業人材不足

少子高齢化



都市人口集中



集客とマッチング力の強化

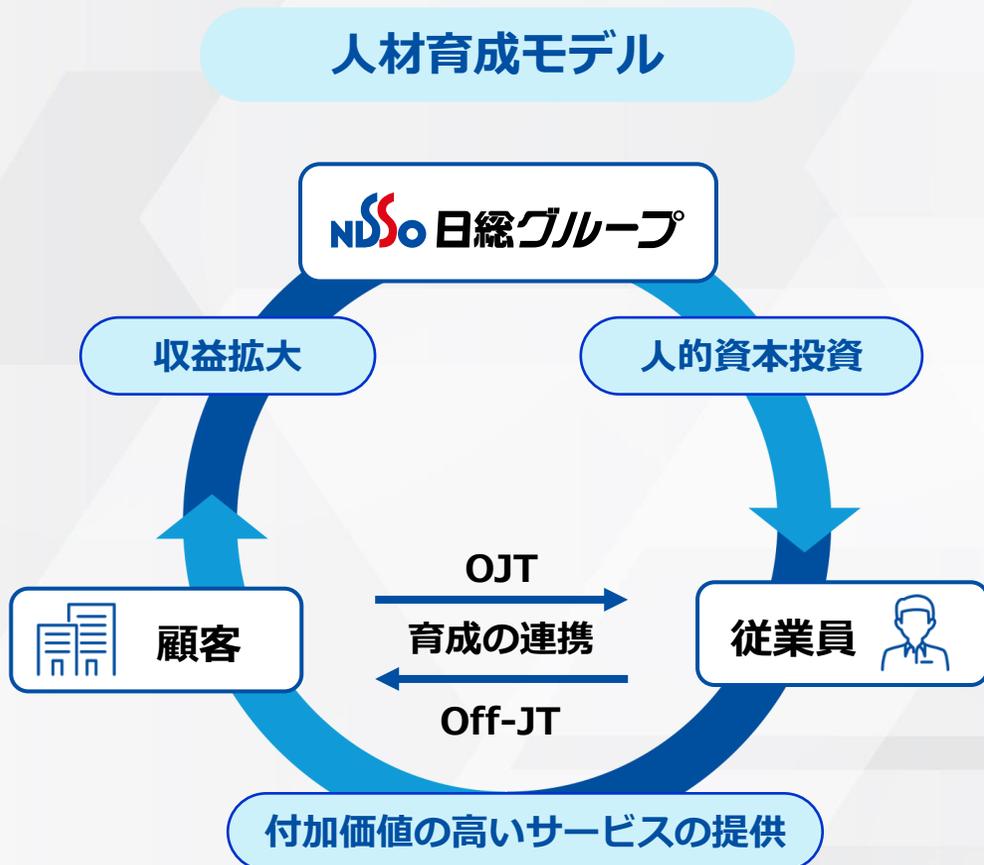
求職者ニーズ



顧客ニーズ

社会課題と多様化する人材ニーズに対応するため
グループシナジーを活かした採用手法を開発し、事業拡大に繋げる

人材育成モデル



人事制度改革



ダイバーシティ経営



キャリアアップ制度の充実



キャリアパスアシスタントの増員



キャリアチェンジの促進



研修施設の拡充



VR/AR教育の導入



スキル見える化

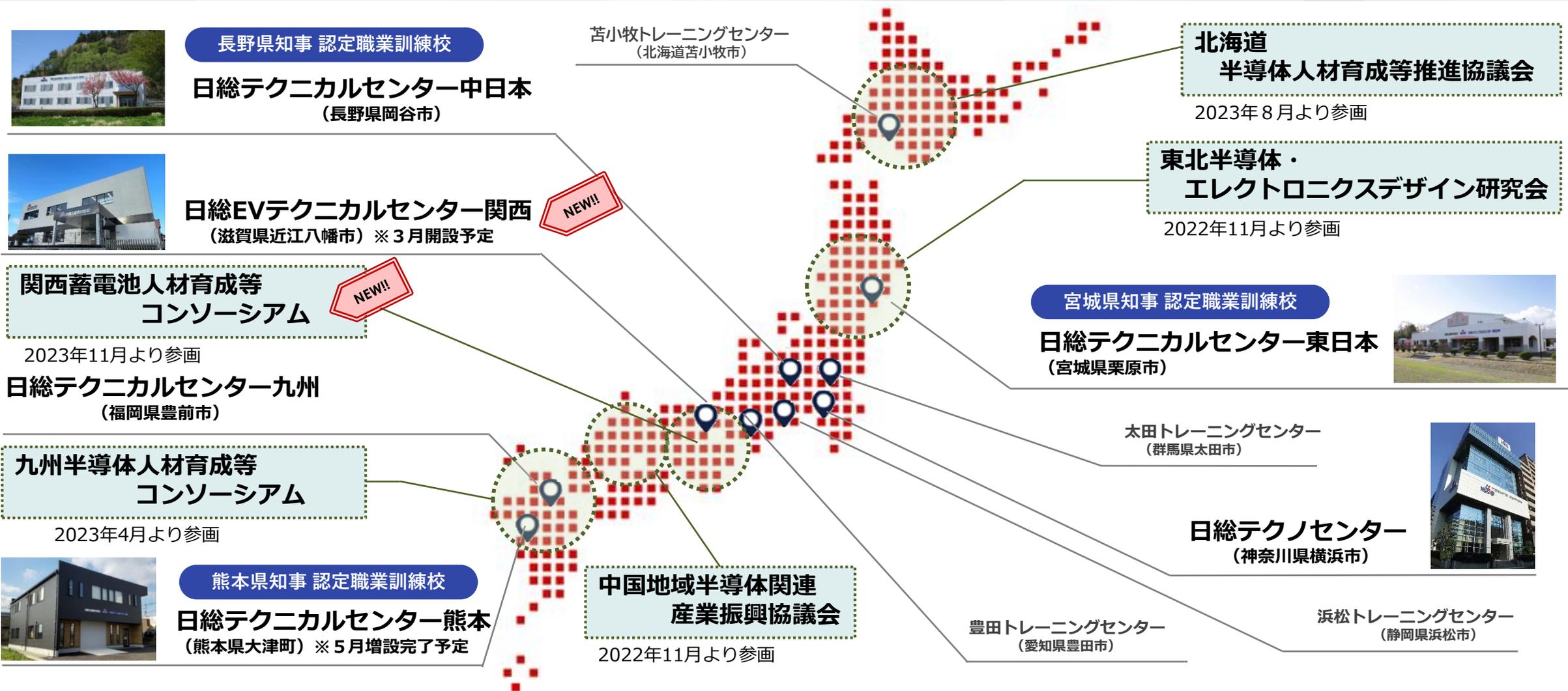


エンジニアの育成



介護人材の育成

研修施設の全国拡大と産官学連携により高付加価値人材を輩出



● 2024年3月期 第3四半期 教育実績（延べ人数）

ポイント

- ・当社グループは、独自の「人材育成モデル」を構築。高度なOff-JTにより高付加価値サービスを提供。
- ・介護・福祉サービスでは、サービス品質を担保するためOJTのみならず定期的なOff-JTが実施できる体制を構築。
- ・教育訓練の外部展開も実施。クライアントのニーズに沿った教育コンテンツを提供。

区分	研修内容	24年第3四半期累計
(直接系) エンジニア系研修	製造設備保全・製造設備技術 機械設計・生産技術 産業用ロボット特別教育等	1,057名
(直接系) 製造生産系研修	ものづくり教育 職長教育 危険体感教育等	13,209名
(直接系) その他研修	コンプライアンス定期教育 キャリア支援研修 資格（レベルアップ）研修等	1,371名
介護・福祉研修	高齢者虐待防止・身体拘束廃止研修 事故発生防止リスクマネジメント研修 感染症・食中毒予防研修等	1,480名
合 計		17,117名
外部社員研修（受託）	機械保全基礎 製造設備基礎 危険体感教育等	148名

4

日総グループ トピックス

2023 | 04

- 日総テクニカルセンター熊本開設



- 九州半導体人材育成等コンソーシアムに参画

2023 | 06

- 日本ものづくりワールド2023に初出展



- 2023.06.28 第43回定時株主総会 (日総工産)

2023 | 08

- 北海道半導体人材育成等推進協議会に参画

- 2023.08.07 2024年3月期第1四半期決算発表 (日総工産)

2023 | 10

- NISSOホールディングス 設立

- 「JAPAN MOBILITY SHOW 2023」に協賛



- 「ものづくりワールド大阪」に出展
- TCFD提言に賛同



2023 | 12

- APB 株式会社への出資を決定

- 2023.11.07 上場廃止になった子会社 (日総工産株式会社) に関する 2024年3月期第2四半期決算発表

2024 | 02

- くまもと産業復興エキスポに出展 (予定)



- 日総EVテクニカルセンター関西開設 (予定)

2024 | 01

- 株式会社アイズを子会社化

- 2024.02.06 2024年3月期第3四半期決算発表 (NISSOホールディングス)

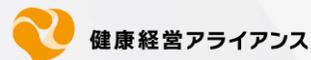
2024 | 03

2023 | 05

- 2023.05.11 2023年3月期決算発表 (日総工産)

2023 | 07

- 「健康経営®アライアンス」に参画
- 三菱総合研究所と半導体製造人材の育成・供給を共同で推進



2023 | 11

- 関西蓄電池人材育成等コンソーシアムに参画
- サステナビリティ報告書2023発行



株式会社アイズを子会社化

- 株式会社アイズは、首都圏を中心にIT領域における派遣・受託事業を展開。
- 工作機械メーカーへの製造派遣・請負事業も手掛ける。
- 当社グループが現在保持していない新たな事業領域（ITインフラ・システムエンジニア領域）における収益基盤獲得により製造生産系およびエンジニア系サービス拡大を目指す。



全樹脂電池メーカーである APB株式会社へ出資決定

- APB社は「全ての人々がエネルギーにつながる持続可能な未来を創る」をミッションに掲げ、全樹脂電池を開発製造。
- 全樹脂電池は、自由形状で、大規模蓄電池にも応用可能な次世代のリチウムイオン電池。
- 全樹脂電池の生産拡大への量産技術支援を目的として出資を決定。



「日総EVテクニカルセンター関西」開設を発表

- 日総工産は、2024年3月中旬に「日総EVテクニカルセンター関西」の開設を予定。
- 関西地区での蓄電池人材を育成する中核研修拠点として設立。
- 近畿経済産業局が設立した「関西蓄電池人材育成等コンソーシアム」に参画し連携強化。



日総テクニカルセンター熊本の増設を発表

- 2024年5月増設完了予定。
半導体製造向け人材の育成に特化した日総テクニカルセンター熊本の隣接地に新たな建屋を建設。
建屋の延床面積は既存施設の約2倍。
- 研修対応人数は既存施設を含めて年間300名以上、現状の3倍を想定。

5

今後の見通し (2024年3月期)

2024年3月期 通期連結業績予想の修正

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年10月2日に公表いたしました2024年3月期（2023年4月1日～2024年3月31日）の通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2024年2月6日に公表いたしました「2024年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

● 2024年3月期通期連結業績予想数値（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

	前回発表予想		今回修正予想		前回発表予想比	
	実績	百分比	予想	百分比	増減額	増減率
売上高	100,000	100.0%	97,000	100.0%	△3,000	△3.0%
営業利益	3,600	3.6%	2,800	2.9%	△800	△22.2%
経常利益	3,600	3.6%	2,800	2.9%	△800	△22.2%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	2,300	2.3%	1,800	1.9%	△500	△21.7%

6

株主還元方針

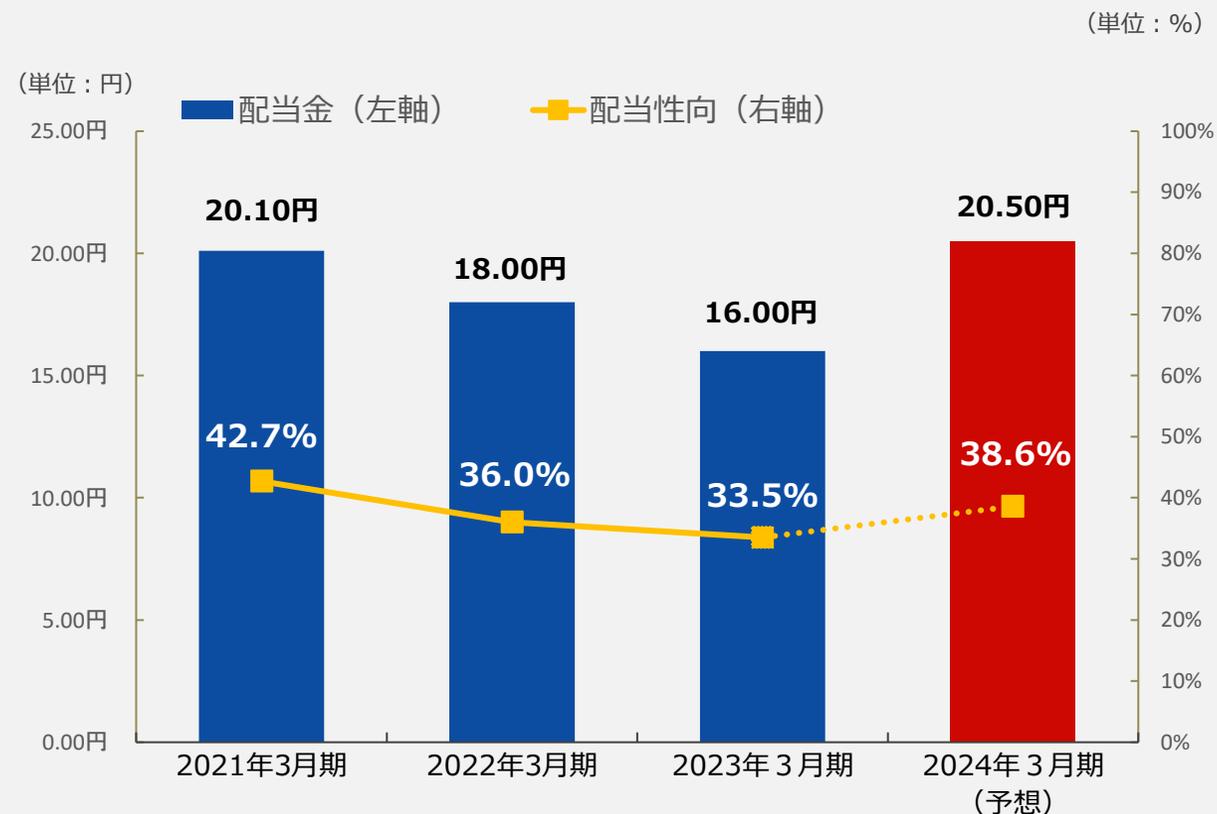
基本方針

当社は、株主に対する利益還元と企業価値の向上を経営の重要課題と位置付けており、連結配当性向30%以上を目安に株主の皆さまへ安定した利益還元を継続することを基本方針としております。

2024年3月期の配当予想

業績予想の修正をいたしました。一株当たり配当予想額（20.50円）は据え置きとしております。これにより配当性向は38.6%になります。

配当金と配当性向



※2021年3月期の配当金には、創業50年記念配当5円00銭を含んでおります。
※2023年3月期までは、持株会社体制となる前の日総工産株式会社の数値を掲載しております。

7

財務狀況 (2024年3月期 第3四半期)

連結貸借対照表

(単位：百万円,%)

	23年3月末		23年12月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	21,747	72.3	21,608	71.5	▲138
現金及び預金	9,800	32.6	9,061	30.0	▲738
売掛金	10,986	36.5	11,293	37.4	306
固定資産	8,344	27.7	8,624	28.5	279
有形固定資産	4,660	15.5	4,935	16.3	274
無形固定資産	1,514	5.0	1,383	4.6	▲130
投資その他の資産	2,169	7.2	2,305	7.6	135
資産合計	30,092	100.0	30,233	100.0	140
流動負債	12,187	40.5	12,041	39.8	▲145
未払費用	6,119	20.3	6,655	22.0	536
未払法人税等	555	1.8	32	0.1	▲522
賞与引当金	1,395	4.6	781	2.6	▲614
固定負債	3,097	10.3	2,758	9.1	▲338
長期借入金	2,019	6.7	1,651	5.5	▲367
負債合計	15,284	50.8	14,800	49.0	▲484
株主資本	14,563	48.4	15,161	50.1	597
非支配株主持分	239	0.8	262	0.9	23
純資産合計	14,807	49.2	15,432	51.0	624
負債純資産合計	30,092	100.0	30,233	100.0	140

Point

①稼働人数拡大による増加

製造系人材サービスの稼働人数拡大他により、流動資産の「売掛金」及び流動負債の「未払費用」が増加しました。

②返済

借入金の返済により、流動資産の「現金及び預金」及び固定負債の「長期借入金」が減少しました。

③納税

法人税等他の納税により、流動負債の「未払法人税等」が減少しました。

④賞与支給

夏季賞与及び冬季賞与の支給により、流動負債の「賞与引当金」が減少しました。

⑤全体

上記の結果、前期末比で資産合計が0.5%増加、負債合計が3.2%減少、純資産合計が4.2%増加となり、自己資本比率50.2%となりました。

8

用語集

用語	説明
製造派遣	「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に従い事業を行っており、自動車製造、半導体製造、電子機器製造をはじめとしたメーカーに対し派遣サービスを提供。業務の指揮命令権は派遣先であるメーカーにあり、雇用元は派遣会社となる。採用や給与計算など労務管理に関わる手続き等は雇用元である派遣会社が行う。
製造請負	自動車製造、半導体製造、電子機器製造をはじめとしたメーカーに対しサービスを提供。製造メーカーの工程・設備の一部、または全体を使い請負会社が、生産、品質管理、労務管理及び職場運営体制を構築する。発注者（メーカー）からの注文に対し、請負会社による管理体制のもと製造や加工、検査等を行い、完成品（成果）を発注者に納品する。
人材育成モデル	高付加価値人材の育成を行うためのモデル。当社グループ独自の高度なOff-JTを用いて人材を育成することで、職場配属後の習熟が早く定着の良い人材をお客様に提供する。
インダストリー戦略	総合人材サービスの事業拡大に向けて、当社グループが注力する産業（インダストリー）ごとのニーズに積極的かつスピーディに応えていくための戦略。
離職率	累計退社数を毎月の平均在籍人数の合計で割った数字。該当期間の平均退社率を表している。
日総テクニカルセンター	自動車・電気・半導体など様々な業種に対応する専門性の高い技術者の教育を行う大型の教育訓練施設。トレーニングセンターよりも幅広い教育を行う事が可能で、研修受託サービスにも対応できる。
日総トレーニングセンター	特定の業種に向けた専門技能教育を行う教育訓練施設。主に特定メーカー様への配属を前提とした教育・訓練を行う。

 働きものを、幸せものに。
NISSOホールディングス

本資料で記述している将来予測および業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は記述している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

〈IRに関するお問い合わせ先〉

NISSOホールディングス株式会社 IR部

電話 045-777-7630

E-mail ir@nisso-ir.com

URL <https://www.nisso-hd.com>